

病害虫情報 No. 7

茨城県病害虫防除所

イネツトムシの発生に注意してください！

7 月下旬からイネツトムシの発生が多くなると予想されます。
ほ場をよく観察し、発生を認めたら適期に防除を行ってください。

作物名：水稲（飼料用稲を含む）

病害虫名：イネツトムシ（イチモンジセセリ幼虫）

[現在の状況]

- 7 月上旬現在、イネツトムシ第 1 世代幼虫の発生が平年よりやや多く、発生地点率は平年より高い（表 1）。
- 第 1 世代幼虫の発生量が多いことから、7 月下旬頃から発生する第 2 世代幼虫の発生量が平年より多いと考えられる。

表 1 イネツトムシ第 1 世代幼虫の発生状況（7 月上旬調査）

調査地点数	ツトム数/25 株			発生地点率 (%)			
	本年	前年	平年	本年	前年	平年	
県北	29	0.1	0.1	0.1	14	10	9
鹿行	6	0.5	0.2	0.1	33	17	8
県南	19	0.2	0.1	0.1	16	11	10
県西	12	0.6	0.1	0.1	33	9	12
全県	66	0.3	0.1	0.1	20	10	9

[防除対策]

- 周辺に比べて田植えが遅い、窒素が多い等で葉色が濃い水田では、発生に特に注意する。
また、飼料用稲も葉色が濃いため、発生には注意が必要である。
- 多発すると被害が大きい第 2 世代幼虫の防除適期（若齢幼虫がイネの葉先を巻き始める時期）は、7 月 25～31 日頃と予想される。
- 7 月下旬に水田をよく観察し、幼虫の発生が多い場合は、表 2 を参考に薬剤防除を実施する。
- 上位葉が食害されると収量・品質の低下を招く。また、葉をつづり合わせてツト（巣）をつくり、出穂を妨げることがあるので、防除は遅れないようにする。

表 2 稲のイネツトムシの主な防除薬剤（平成 19 年 7 月 4 日現在）

防除対象作物	薬剤名	施用量または 希釈倍数	収穫前日数- 剤の使用回数	有効成分名	有効成分の 総使用回数	
水稲 飼料用稲	○	ディブテックス乳剤	1,000 倍	14-4	DEP	4
	○	パダン SG 水溶剤	1,500 倍	21-6	カルタップ	6※
	○	パダン粒剤 4	3～4kg/10a	30-6	カルタップ	6※

※但し、種もみ浸漬は 1 回以内、床土への混和、育苗箱への処理及び側条施用は合計 1 回以内
飼料用稲については、稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアルを参照して下さい。

農薬の使用にあたっては、農薬ラベルに記載の使用方法・回数・注意事項等を確認のうえ使用して下さい。また、薬剤散布の際は、周辺作物への飛散（ドリフト）に十分注意して下さい。

病害虫防除所ホームページ（病害虫資料室）に発生生態等の情報を掲載しています。